

帯広市と北海道経済産業局が観光分野による地域活力創出に向けた取組 に関する覚書を締結します

～北海道経済産業局が自治体と観光分野で集客取組に係る覚書を締結するのは初～

帯広市と経済産業省北海道経済産業局は、地域活性化、地方創生の取組を進めるためには、双方の連携が重要との認識から、地域資源を活用した観光による地域の活力創出に向けた取組に関する覚書を締結します。

◆覚書締結の趣旨

帯広市は日本を代表する食料基地である十勝の中央に位置し、産業・経済、行政など様々な都市機能が集中する中核都市として、各分野において様々なプロジェクトを実施し、自市のみならず十勝全体の振興に向け取り組んでいます。

昨今の人口減少・少子高齢化の進行、グローバル化の進展など、社会経済情勢が大きく変わる中で、帯広市では、まちづくりの指針である、次期「第七期帯広市総合計画（令和2年度～）」において、関連する産業の裾野が広い観光分野でのにぎわいのあるまちづくりをめざし、食・農・自然等の地域資源を活用し、多くの人々が国内外から訪れ滞在するための取り組みを進めようとしています。

北海道経済産業局は、帯広市のこうした観光分野における取組について、企画段階から関わり、様々な施策活用を視野に入れながら支援を行うことで、地方創生を具体化するとともに、道内他地域のモデルとして行きたいと考え、覚書を締結いたします

◆主な覚書の内容

帯広市における十勝の資源を活かした観光分野における取組を推進するための

- (1) 食・農・自然を活かした観光産業の高付加価値化に向けた取組支援に関する事
- (2) 地域の資源を活かした新たな分野における集客に向けた取組支援に関する事
- (3) その他、観光分野における取組みについて、相互に連携協力することが必要と認められる事項に関する事